

第 16 回高専技術教育研究発表会参加報告

第 3 班 伊藤眞子

1. はじめに

令和 7 年 3 月 3 日（月）から 4 日（火）にかけて木更津高専で行われた第 16 回高専技術教育研究発表会に参加した。本発表会は全国の国立高等専門学校に勤務する技術職員が日常業務で携わっている広範囲な技術や教育研究支援活動や研究活動等について発表及び情報交換し、それらを通して技術職員の資質向上と技術教育の充実を目的としている。計 78 名が参加し、口頭発表 34 件、ポスター発表 13 件が行われた。



写真 開会式

2. 日程

<1 日目>

13:00~ 13:30 開会式・写真撮影

13:35~14:34 口頭発表

14:45~15:44 口頭発表

15:55~16:54 口頭発表

<2 日目>

9:00~10:14 口頭発表

10:25~11:05 ポスター発表

11:25~ 閉会式

施設見学会（自由参加）

3. 各日程の詳細

●口頭発表

2 つの会場に分かれ、発表 10 分、質疑 4 分

で行われた。1 つのセッションあたり 4 名または 5 名が発表を行った。機械工作実習、安全管理や新規講座・授業の開拓に係る実施報告といった様々な分野の発表を聴く事ができた。自身は「異なる地域を繋げた外来種ブラックバス簡易魚粉化の検討と肥料としての畑等での栽培実証試験」というタイトルで、県内の異なる地域の受託研究を繋げ成果をあげた事例を説明した。

●ポスター発表

2 つの会場に分かれ、40 分間実施された。新規工作キットを開発し、オンラインで講座を開催した内容や、ペットボトルキャップを原料としてアクセサリを製作する講座について詳細をお聞きした。多くの人に興味を持ってもらうために工夫されていることが印象的だった。

●施設見学会

環境都市工学科及び実習工場を見学した。鶴岡高専には土木系のコースがないことから、水力やコンクリートの耐久試験などに関する装置など、始めて見る施設が多くあった。実習工場では一つのテーブルで 6 名が同時に作業できるなど特注の作業機等を見学した。他高専がどのような実験実習をしているのかを知ることができ有意義だった。

4. おわりに

本会に参加させていただき、多くの発表を聴講することで他の高専の技術職員としての活動を多く知ることができた。活発な質疑応答にも刺激を受けた。自身の研究に関しても参考になる言葉を沢山頂いた。

今後の業務や学生への技術教育研究支援の向上に役立てられるよう努めていきたい。